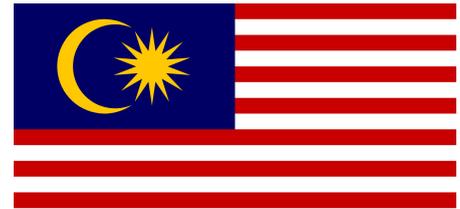


マレーシアの歴史



なぜ今回歴史にしたかという自分が好きな戦国時代に深くマレーシアが関わっていたことに気づいたからです、もちろん日本とのかかわりも深いことも理由の一つです

交易やキリスト教の伝来

マレーシアの歴史は1396年まで遡ることになる

1396年にマラッカが建国されます、これがのちのマレーシアです

そして15世紀から日本と交流が深くあり交易関係にもなっており日本からは銀、刀、漆器、屏風を輸出し象牙、錫、砂糖、鉄を輸入していて1630年までの間でその回数150回にのぼる

16世紀にポルトガルによりマラッカを占領されマラッカ国は滅亡したそのポルトガルの鉄砲がマラッカ経由で日本に伝来しその後日本は鉄砲の大量生産につながり、長篠の戦、大筒の生産などいろんな出来事に影響をもたらした

1549年 イエズス会のフランシスコ・ザビエルがマラッカを出発し、日本に到着後キリスト教を広めはじめる、この影響も強く身分を問わず大名にも広まったこともあり政治にも深く影響をもたらした

火縄銃



1941年 日本軍がコタバル近郊に上陸 (マレー作戦)。太平洋戦争の開戦に巻き込まれ1942年 日本軍がマラヤ及び北ボルネオ全域を占領。クダ王国はシャムの占領下、その他の地域は日本軍の軍政下に入る、その後1945年太平洋戦争の終結に伴い、マラヤと北ボルネオがイギリスの支配下に復帰した

そして1946年 イギリスがマラヤに有するクダ・シンガポール以外の植民地の集合体としてマラヤ連合が発足。1957年マラヤ連邦はイギリス連邦の一員として独立を達成した。1963年、マラヤ連邦はシンガポール、サラワク、英領北ボルネオ(サバと改称)と新たな連邦を結成し、マレーシアが成立した

マラヤ連合

マラヤ危機



大まかな植民地の流れ

ポルトガル→オランダ→イギリス→日本→独立

独立後のマレーシア

マレー系住民が多い中での政策に中国系住民が反発し、マレー系住民との間で衝突が起き、死傷者を出す暴動にまで発展する。その後、文化的な違いか1965年シンガポールはマレーシア連邦から追放される形で分離独立した。

1968年から3年間 共産主義者の反乱に悩まされたりマレーシア史上最悪の民族衝突であるマレー人と中国人の間の衝突5月13日事件が起きる。この暴動はほぼ1日で終息したが、銃撃や放火などによって暴動発生後の数日間で死者196人、負傷者439人の犠牲者を出す大惨事がおきたり約20年に及ぶマハティール・ビン・モハマ期にては急速な経済成長などがあり、現在のマレーシアに落ち着いている

参考資料

<https://www.y-history.net/appendix/wh0503-018.html> 世界史の窓

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%9E%E3%83%AC%E3%83%BC%E3%82%B7%E3%82%A2%E3%81%AE%E6%AD%B4%E5%8F%B2> ウィキペディア

https://ryuoki-archive.jp/columns/d_columns/2376/ 琉球王国交流・近代沖縄資料

[探検しよう！,みんなの地球](https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sanka/kyouiku/kaihatsu/chikyu/world_info/asia/malaysia/index.html#:~:text=)

